Sanriku-geopark

さんりくジオだより

第１０１号
令和６年９月号

三陸ジオパーク推進協議会

「ジオパークの日」の取組

　三陸ジオパークでは、８月22日の「ジオパークの日」にちなんだ取組が各地域で行われました。
　八戸市水産科学館マリエントでは現地での清掃活動に加え三陸ジオパークの普及啓発を目的とした研修会を実施し、宮古市では北上山地最高峰の「早池峰山」に登り、自然環境と保全状況そして人との関わりについて学ぶ研修会がありました。
　山田町では、山田湾に面する浦の浜海水浴場の閉設にあわせて砂浜や駐車場等の清掃活動を実施。住田町では種山高原観光協会として、サイトの種山ヶ原の物見山山頂の登山道・星座の森散策路の道のりを中心に草刈等の清掃作業を行いました。
　また大船渡市の碁石椿園では昨年に引き続き、特定外来生物〈オオハンゴンソウ〉の駆除活動を実施しました。(大船渡市ホームページへ　city.ofunato.iwate.jp)
　気仙沼市では岩井崎で、震災後の生態系や地形の変化の観察や気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で津波について学ぶ学習会があり、一方田野畑村では、村内のサイトを認定ガイドと共に電動自転車「e-bike」で巡るツアーなど、16市町村それぞれにジオパーク活動を展開しました。
　今後も継続して行っていきたいと思います。

蕪島周辺の清掃活動とジオパーク研修会（八戸市）

イオンハートフルボランティア活動

　昨年に引き続き、９月7日に大須賀海岸のクリーン活動が行われました。約100名の皆様にお集まりいただき、暑い中作業にあたっていただきました。イオングループの皆様　ありがとうございました！

第3回認定ガイド講座

○宮古会場
10月31日（木）10:30～
イーストピアみやこ1階　会議室3
○久慈会場
11月13日（水）11:00～
道の駅くじやませ土風館　会議室

「全国大会に参加してきました」

～下北ジオパークにて～

　今回の下北大会は、例年よりも早めの8月30日～9月1日に、1日多い日程で開催されましたが、三陸ジオパークからは総勢46名が参加しました。
　マリエントちきゅうたんけんクラブがJGN表彰を受け喜ばしい開会セレモニーから始まり、口頭発表、ポスター発表、セクション別の交流会など、それぞれのプログラムに参加しつつ、下北半島の現地視察にも行ける時間がとれました。地域の皆さんが総出で全国大会に関わっていることが随所に感じられる大会でした。

・・・気候変動について・・・

　全国大会最終日に行われた分科会では、13の会場に参加者が分かれ、それぞれのテーマに沿った情報提供や議論が展開しました。その中で今回は気候変動について参加しましたが、「地球温暖化」を含む最近の異常気象やＣＯ2の削減などの話を改めて専門の先生から聞くことができ、とても考えさせられました。メディアの気象情報でも「過去に経験したことのない」とか「観測史上初」という言葉を耳にしますが、気候の現状は過去80万年間をさかのぼっても前例のない異常な状態なのだそうです。
　さまざまな要因がつながっているので、すぐにどうこうなる問題ではないとはいえ、参加者それぞれが「自分にできることは何か」に気づく機会になりました。

～みちのく潮風トレイルを歩きながらジオを感じるスポット＜その１＞

今年で全線開通５周年を迎えた青森県八戸市から福島県相馬市まで一本の道でつないだ1,000ｋｍの自然歩道『みちのく潮風トレイル』。海沿いを歩くコースが多く、宮古市の浄土ヶ浜や大船渡市の穴通磯など、ジオサイトも眺めながら歩くことができるので、ジオパーク担当職員の間でも、みちのく潮風トレイルを歩きながらリフレッシュしている方々がいます。セクションハイクで、自分の都合に合わせた計画を立てて、少しずつ歩いた距離が増えてくので、楽しみでもあります。

宮古管内のおすすめスポットは多々あるのですがジオを感じる絶景として『波打崎』（なみだざき）を紹介します。

宮古市のジオサイトのひとつで、田老の「三王岩」から歩いて10分ほどの場所にある『波打崎』は、岬の突端まで行くことができ、外洋の荒々しさを感じることができます（波が高い時、荒天の時には通行不可。段差もあるため足元には十分注意が必要）。

三王岩の展望台で遠くにみえた礫岩の地層がすぐ近くに見えるのも見どころの一つです。

みちのく潮風トレイルのルートからは少し外れてはいますが、立ち寄りスポットとして、必ず訪れていただきたいおすすめの場所です。

（記：紀田）

道の駅公式マガジン「おでかけみちこ」に載っています

東北「道の駅」に置いてあるフリーマガジン「おでかけみちこ」を是非手に取ってご覧ください！昨年度からジオパーク認定ガイドさんが各回地域ごとにみちのく潮風トレイルコースを道案内しているページが見開きで掲載され、歩いて出会う「ジオの見どころ」も紹介しています。

今号は宮古周辺が舞台ですが、事務局では記事取材に同行してきました。トレイルのルートは三陸ジオパークエリアのほとんどの海岸部にありますが、波の音を聞きながら山の中を歩き、谷を下り、川を渡り、アップダウンの高低差も三陸の大地の形によるものですが、その合間に見えてくる絶景も地球の活動によって遥かなる時間をかけて少しずつつくられてきたもの。足元の大地は、かつては海の底だった・・・そして赤道付近からゆっくりと北上してきたという・・・　壮大なジオストーリーです。

当時の世界に存在していた植物や生き物が化石となって発見されている場所もたくさんあります。その億単位の大地の物語に思いを馳せて歩いてみると、また違った景色に見えてくるものですね。

編集後記： 9月には3連休が2週にわたって続きましたので、お出かけになった方も多かったと思いますが、三陸の9～10月には各地で祭りがありますので、その時期に合わせて帰省する人も多くいます。また、震災を機に縁のできた方々が、祭りに合わせて再訪してくださることも重なり、それぞれの地域が一年のうちで一番賑わう時期でもあります。

祭りの神輿の担ぎ手や郷土芸能の踊り手に、復興関係で来ていた応援職員さんやボランティアの人、地域おこし協力隊の方の姿があることも。まるで同窓会のようにこの地での再会があります。　新たな出会いとご縁に感謝です。　～と～

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072
岩手県宮古市五月町1－20
（宮古地区合同庁舎2階）
TEL:0193-64-1230
FAX:0193-64-1234
info@sanriku-geo.com
https://sanriku-geo.com/
Facebook